

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 9月 6日更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局	課長名 栗木清智
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名 米村大
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承		所属班	生涯学習班	(内線) 1511
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10923	根拠法令	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑩
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成7年度、合志歴史資料館及び西合志郷土資料館完成。それに伴い事業開始。歴史資料館長を1人配置し歴史資料等の収集・保管・管理及び展示を行なっている。文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援として、ふるさと探訪まちめぐりバスを複数回実施。年に1回合志歴史資料館にて特別展を開催。子ども歴史科学体験教室については、子どもたちの体験活動支援事業として平成16年度開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立。現在残されている貴重な史料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき史料は少しずつ増加すると思われる。また、子ども歴史科学体験教室については、一定の参加者がある。平成26年度より10836合志市郷土・歴史資料館維持管理事業を統合。平成29年度7月より両資料館を合志歴史資料館に統一し、西合志郷土資料館を合志マンガミュージアムにリニューアルした。合志歴史資料館は、平成28年熊本地震以降、被害にあった合志市総合センターウィーブルの復旧工事に合わせ、平成29年度未まで休館。
【業務の流れ】	展示物、収蔵資料の整理、保管。展示物および収蔵資料の保管。市史編纂資料の収集・作成、体験教室・企画展の開催。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】	資料館の統合に伴い、それまで両町に分かれていた展示内容を、合志市としての展示内容に統一して欲しいとの意見が出ている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	① ふるさと探訪まちめぐりバスを実施。 ② 子ども歴史・科学体験教室を実施。 ③ 合志市歴史資料館展示リニューアルの実施。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ① ふるさと探訪まちめぐりバス ② 子ども歴史・科学体験教室 ③ 資料館統合による新しい展示・説明 ④ 歴史資料の収蔵・展示・収集・適正な管理・調査・研究
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 点 ア: 展示資料数 イ: 講座開催回数	予算の主な増減の理由 旧西合志郷土資料館の管理用消耗品の削減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	(単位) 人 ア: 人口 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 人口 人 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土史を学ぶことができる	(単位) 人 ア: 来館者数 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 来館者数 人 イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 より多くの市民に郷土の歴史について知ってもらうため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア 点		300	300	300	300	300	300	300	300	
	イ 回		9	7	11	10	11	11	11	11	
② 対象指標	ア 人		60,008	0	60,900	61,621	61,500	62,000	62,500	63,000	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		6,627	1,629	4,500	0	4,500	4,500	4,500	4,500	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	77	22	20	364	20			
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	2,633	2,617	2,015	1,658	2,004	2,876	2,876	2,876
		(A) うち指定経費	千円	2,710	2,639	2,035	2,022	2,024	2,876	2,876	2,876
		(A) のうち時間外、特勤	千円	1,920	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	3	2	2	0	0
		延べ業務時間	時間	25	550	0	510	0	0	0	0
(B) 人件費計		千円	92	0	0	2,017	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,802	2,639	2,035	4,039	2,024	2,876	2,876	2,876	

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 年度当初から、地震による被災とマンガミュージアムへのリニューアル工事で休館していることにより、入館者数がいなかったため。
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地震被災の復旧工事が終了するのが本年度末であり、そこから新しい合志歴史資料館の開館準備(新しい展示等)を行わなければならないため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 これまで両館とも、旧町の歴史しか扱っていなかったが、今後は市としての歴史を市民に対し、わかりやすく展示することで来館者数を向上させる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 合志マンガミュージアムと歴史の分野などで連携を図ることができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の人件費で運営しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 資料館は無料で誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の文化・歴史に関わる資(史)料を収集・保管・管理することは市の勤めである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

講座によっては、参加者の人数にばらつきがあるため、より多くの市民に歴史に親しんでもらうために、内容の見直し等も常に考えていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						